



## 「わくわく」して、一人一人が活躍した音楽会

本日は実りの秋と言われるにふさわしい一日となりました。子供たち一人一人、今日の音楽会までに「めあて」を立てて、今日という日に臨みました。そのめあてを達成すべく、子供たち一人一人が活躍することができ嬉しく思っています。様々な感染症が懸念されましたが、子供たちの「わくわく」の表情をたくさん見ることができ、感動溢れた一日となりました。以下はプログラム順に、今日の音楽会を振り返ってみたいと思います。

### 【合唱部オープニング演奏】「歌の始まり」

これまで大きな舞台を経験している合唱部の堂々とした発表です。聴衆の心を引き寄せるのは、やはり歌う楽しみを知っているからこそです。歌詞の意味を考えながら「歌は人と人が感じあって生まれてくるのだ」と歌う姿は、皆のお手本となりました。オープニングが華やかなものになりました。

### 【1年生】合唱「夢見るジャンプ」 合奏「きらきらぼし」

初めての音楽会の1年生の姿からは、「音楽は楽しい!」という思いが伝わってきました。やる気・元気いっぱい歌声からは、「がんばるあなたこそが一番さ」の歌詞の意味通り、頑張る1年生の姿が輝いていました。「きらきら星」も一人一人の息の合った合奏が、体育館中に煌めいていました。

### 【2年生】歌とリズム、合奏による表現「どうぶつの森の音楽会」

「どうぶつ森」というタイトル通り、動物の出でくる楽曲を選び、様々な動物に扮した子供たちが登場しました。手作りの「耳」は、動物に成りきり、表現に厚みを加えました。合唱「青い空に絵をかこう」では、未来への希望に胸を膨らませながら、リズム打ちをしながら歌う姿に、成長を感じました。

### 【3年生】リコーダー奏と歌による表現「エーデルワイス」「とどけようこの夢を」

今年から習っているリコーダーの演奏を披露してくれました。「エーデルワイス」は、タンギングに気を付けて、ゆったりとした滑らかな曲の中に時折表れる躍動感のある場面の響きを楽しんでいました。「とどけようこの夢を」は、ダンスも交えながら、曲想にふさわしい表現を工夫していました。

### 【4年生】合唱「いつだって」合奏「鉄腕アトム」

合唱の「僕らいつだってみんな友達さ」の部分では、友達の意味を考えながら、思いを込めて歌っている姿が印象的でした。懐かしの「鉄腕アトム」では、リズムや拍の取り方が難しいのですが、一人一人が練習を重ねながら臨み、21世紀を生きるアトムの世界観を表現することができました。

### 【5年生】合唱「小さな勇気」 合奏「風になりたい」

合唱曲は、東日本大震災の後、音楽教員の方が作った曲で「誰かを助ける強さをもちたい」という子供たちの思いから生まれた曲で、子供たちも歌詞の意味を理解しながら、イメージを膨らませ歌声に込めていることが伝わりました。合奏は、サンバのリズムで、躍動感に溢れ、颯爽とした一陣の風が、聴衆の心の中を駆け抜けました。まさに、高学年としての姿が伝わる演奏でした。

### 【6年生】合唱「あすという日が」 合奏「シング シング シング」

この合唱曲も東日本大震災の後に歌われ、被災地から発信された曲として注目を浴びました。歌詞の間にほんの少しの無音の間が入り、いつも間にか曲に誘われ、「生きることは素晴らしい!」というメッセージが心に強く伝わりました。合奏は、ジャズの拍の感じ方やスウィングのリズムといった音楽の特徴を感じ取りながら、合奏で友達と工夫を重ねていました。最高学年として、手の甲の「楽」の文字通り、小学校生活の集大成としての音楽会を楽しみながら演奏してくれました。

音楽会に向けて、学校が「わくわく」に向かって一つになることができました。子供たちには、「4つの心」のどこが伸びたのか成長の実感をしっかりと味わわせながら、今回の経験を次への活動へ生かしたいと思えます。音楽会までに、高学年が楽器やステージの準備をし、音楽委員会が運営を担当するなど、学校全員でやり遂げました。保護者の皆様、本日はご多用の中、本校の音楽会に参観・または Zoom で視聴頂き、ありがとうございました。

